

らんこし議会だより

令和6年3月

号外

町民との意見交換会で寄せられた ご意見についてお答えします

昨年11月に行われた「町民との意見交換会」にご参加いただいた町民の皆さまからの建設的なご意見について、議会としての考えを報告いたします。

また、寄せられたご意見等は、今後の議会活動へ反映していきたいと思います。

■町の公共交通について

Q 町の公共交通（JR、スクールバス、らんらん号、福祉バス、タクシー、民間のバス）の利用客の減少と利便性の悪さが、今後の高齢者時代を考えると心配である。

自治体によっては、デマンドバスやライドシェア（中頓別町、天塩町など）を実施され機能されているとのことなので、本町にもライドシェアの導入が良いのでは？

A 現在、地域公共交通計画を、町内の方や団体、有識者の話を聞きながら、実際にどうい

うものが蘭越に合った形態になるのか、計画策定しているのでご理解

解いただきました。

■交流促進センター幽泉閣の路上駐車について（第4回定例会で金安議員が一般質問を実施）

Q 利用者の路上駐車による迷惑行為により、事故の危険性はもちろん、町のイメージダウンに繋がりがねない。

駐車場から施設にすぐ入れる通路など、利用者の利便性に応じた施設の工夫はできないものか。

A 議会として行政側に同様の質問を行ってきておりますが、周辺の土地売買等については、交渉した経緯もあるとのこと。

現状として、駐在所と連携し巡回の強化や館内放送、パンフレット等を作成し路上駐車への啓発を実施しているが、当事者のモラルによるところが大である。

■北海道新幹線並行在来線について（第4回定例会で難波議員が一般質問を実施）

Q 函館線路線廃止の方針を決めた昨年の3月以降、この

1年半でローカル線を取り巻く環境は変化している。

バス運転手不足、新幹線札幌延伸の開業の遅れ、国の姿勢も変化していることから、町は代替バス運行の具体化を一旦停止させ、函館線存続の再検討を望むが考えをお聞きしたい。

A バス転換に決定したことに伴う膨大な財政負担に耐えられるか、沿線自治体の全てが無理であると判断しバス転換との結論に至った。バス運転手が不足だから改めて

鉄道を残そうと、全ての沿線自治体が決断できるかは、これからの協議会での検討次第ではないか。

Q 国の姿勢に変化が見られることから、膨大なお金がかかるが再度計算し直す価値がある」と新聞記事に掲載されていた。

A 沿線自治体でもう一度考え直すかというところまで行くかどうか、協議はこれから。

沿線自治体の状況などもあることから、まだまだ協議会で議論を深めていく必要がある。

Q バス転換一本ではなく、見直しをしようという機運もぜひ盛り上げていただきたい。

A バス転換を見直すということではなく、沿線自治体それぞれの状況もあることなので、在来線を維持しようする場合に問題となる部分も含めて、協議会で議論していただきたいと考える。

■蒸気噴出事故について

Q 蒸気噴出事故に対する議会への取組状況及び町や事業者に対し、どのような要望をされるのか。

A 昨年9月19日に資源工ネルギー庁長官及び事業者に対し要望を実施したが、詳細は守秘義務ということで報告はできない。

農産物被害など、町へそれ相応の支援を要望している。

また、事業者が今後、本町で地熱開発を続けるかは未定である。

Q 町で井戸水を調査した結果、ヒ素が基準値を超えていると伺った。

ある家庭からは、その水を飲むことができないため、町として対応できないものか、解決の道を探ってもらいたい。

A 調査前のデータがなく因果関係が分からない。意見として伺っておく。

■意見交換会の時間設定について
Q 数年ぶりに有権者と直接会話ができる場として、この度の時間設定はどうか。

蒸気噴出事故の事業者による住民説明会では、質問が出尽くすまでやっていました。

A どの会議においても、終了時間を設定しておりますのでご理解ください。なお、多少の延長は想定している。

■少子化子育て支援対策について

Q 少子化子育て支援対策は非常に大事ですが、議員で子育て対策について検討や行動はされているのか。

A 子育て支援基金の設置、決算に係る余剰金の積立、基金の使い方等、全庁的に議会としても事業政策を考え行動している。

Q 政令等で決まっている不合理な規定などは、もっと子育て目線で見直してはどうか（住民票の手数料、保育料の減免、給食費の半額助成、商品券など）

A 不合理な規定等は、検討の余地があるかどうか担当部署へ伝えたい。

保育料減免については、0歳児から2歳児の課税世帯の保育料に

ついて半額補助、第2子以降免除について担当部署で検討している。

Q 給食費の半額助成及び幼稚園・保育所についても給食費半額補助を実施、商品券についても、格差が生じ不公平にならないよう公平に取り組みたい。

Q 通学路の歩道除雪について

A 緑ヶ丘の歩道除雪が遅く、通学路としては非常に子どもたちに危険であり、小型除雪機では間に合わないことから改善に向けてよう伝えておく。

Q 昆布地区に子育て支援住宅が2棟建設されると伺っていた。現在1棟が建設され公園も整備されているが、残り1棟は建設されるのか。

A 子育て支援住宅の建設計画はあるが、建設予定地が新幹線工事従業員の宿泊施設として利用されており、工事も延長されたため、用地の確保ができない現状である。

■議会の映像配信について
Q 配信期間が次回の定例会が開催されるまでとなっており、後で見たい時に見られない。残さない理由、配信の目的、今

後の議会の動画を残していただけるのか。

A 目的は、傍聴に来られない方に見ていただき、関心ごととして携わっていただくため。配信期間は、議会で取り決めた。動画の取扱いについては、議会で協議させていただく。

■会議のオンライン化について
Q 子どもたちの育児のために参加できないこともあることから、オンラインによる参加ができれば多くの方が家庭内で育児をしながら参加できると思う。

A 貴重な意見として伺う。

■検診等の土日開催について
Q 検診等の開催日を平日以外が増えるのではないかと。

A 貴重な意見として伺う。

■その他
Q 家庭の方々が、どんなことを町がしてくれたら喜ぶのかということを考えていただきたい。全体の少子化対策にも繋がると思う。

A 貴重な意見として伺う。